

名和町は今年 50 歳になりました

記念事業を 盛り上げよいや!!



今から 50 年前...御来屋町と、庄内村・名和村・光徳村という 3 つの村が合併して、現在の「名和町」は誕生しました。

それから 50 年、高度成長、バブル崩壊など、激動の時代を経て、名和町は今年、町制施行 50 周年を迎えました。

これを記念して、平成 16 年度はたくさんイベントが実施されます。

折しも、「平成の大合併」の真っ只中。今年には「名和町」最後の年でもあります。

50 年目の歴史に何を刻み、どうやって新しい町づくりにつなげていくか。それらはすべて、みなさんの「積極的な参画」と、そこから生まれる「地域の活力」にかかっているのです。



名和町長
山口 隆之

昭和 29 年に 1 町 3 村が合併して 50 年、名和町は今年金婚式を迎えます。今まで多くの先人たちの知恵と努力により、幾多の困難を乗り越え今日の名和町が築き上げられてきました。その功績に感謝すると共に、喜びを町民みなで分かち合い、さらにはこれからのまちづくりに生かす機会とするため、様々な記念事業に取り組みます。

みなさんから資料を提供いただきながら作成中の記念誌や小中学生の壁画作成、さらに多くの人が交流し楽しめる各種イベントも企画しております。この記念事業に多くの町民のみなさんの力を結集するため、先日実行委員会も立ち上げることができました。

名和町誕生 50 年、新町スタートというこの記念すべき年が、いつまでも熱く語り継がれるような年となるよう、みなさんの積極的な参画とご支援をお願いいたします。

町制施行 50 周年記念事業 実行委員会が発足!!

「町制施行 50 周年記念事業」として年間を通して実施される各種イベント（例年実施されているもの・今年だけ実施されるもの）全体を取りまとめる「町制施行 50 周年記念事業実行委員会」の第 1 回会議が、3 月 5 日、名和町公民館で開かれました。

実行委員会は、農協・漁協・商工会・区長会・行政などの代表者 22 名で構成されています。

ここからは、今回の会議で決定された、記念行事の実施予定をご紹介しましょう。

みなさんお誘い合わせて、積極的に参加してください!

町制施行 50 周年 記念事業 スタート!!

ご存知ですか？名和町のおんなこと・こんなこと



町章の制定

昭和 31 年に一般公募された町章の図案には、170 点あまりの応募がありました。この中から、富長出身の図案家で、当時東京の日本赤十字社本社博物館勤務であった井上正春氏によって、野坂登紀和さん（旧奈和）の作品が選ばれました。

名和長年公の紋所の帆掛け船を模し、町名の「ナワ」を図案化。満帆に風をはらんで、時代を刻んで進む町勢発展の様相を力強く表現しています。

名和町 町名の由来は...

御来屋町・庄内村・名和村・光徳村の 4 町村は、50 年前の合併以前に、町名決定についてまとまらず、合併できなかったことがありました。そこで、昭和 29 年の合併にあたって「名」は「和」やかに”決めて、新しい町として一致団結して将来の発展を期そうと「名和町」と定められました。

名和町の町名の由来はと問われれば、多くの方が名和長年公を連想するでしょうが、この町名には、じつはそんな願いが込められていたのです。

町民憲章

わたくしたちは、歴史と伝
いに輝く名和町の町民です。
みなさんで、豊かな住みよ
い町をつくるために、この
憲章を定めまします。

一、海青く、花と緑につつ
まされた、きれいな町をつ
くりまします。

一、身も心も健康で、明る
い家庭を築きましょう。

一、お互いに愛しあい、心
豊かな人にならしましょう。

一、教養を高め、産業の振
興と、文化の向上につと
めまします。

一、手をつなぎ、はげまし
あつて、福祉の輪をひろ
げまします。

町制施行 25 周年（昭和 54 年）に、町民のみなさんからの公募をもとに「比較的簡単で、誰にでもよく分かるような憲章を」と制定されました。

町の木 町の花



名和町の木は「松」、花は「さくら」。これも、町民憲章と同じく、町制施行 25 周年（昭和 54 年）に町民のみなさんからの公募で選定されました。

「松」は「名和の風土に適し、成長盛んで、町民の長寿と繁栄をあらわす」、「さくら」は「古くから名和を代表する花で、町民の気品と潔白をあらわす」というのが選定の理由です。